

NGOが診察、炊き出し

AMDA

AMDA(菅波茂代表)

は12日夕、第1次派遣スタッフ2人(看護師、調整員)と医師2人が新潟に集合し、情報収集や現地のニーズを収集、同日中に仙台に到着した。

12日午後には第2次派遣の3人(医師、調整員)が出発、新潟で第1次派遣の医師と合流後、物資

の調査、情報収集にあつた

で巡回診療を展開している。宮城県では、南三陸町で診療を開始した。

JEN

JEN(共同代表理事

吉岡健治、赤川恵一)

は14日、緊急支援のための調整員3人が仙台に到着。16日には宮城野区の小学校で炊き出しを行い、600人分のカレーとスパゲティを被災者に

配った。この炊き出しには、市内の料理店シェフ、大学生や中学生がボランティアとして参加。被災してから初めての温かい食事だったという。

宮城野区で避難所となっている小・中学校はJENスタッフの母校だった。同スタッフは「青春を過ごした学校で、まさか自分が支援活動をすることになるうとは、思いもありませんでした」と報告している。